ぴあ・いろは通信

〇放課後等デイサービス　放課後クラブぴあ
〇児童発達支援　療育ルームいろは

《お問い合わせ》TEL３３－４８６０

キンモクセイの香りと太鼓の音、はためくのぼりが新居浜の秋を感じさせてくれますね。
連休や祝日が多い 10 月、お子さんとお出かけしてみましょう。写真で行先を示して見通しを伝えたり、いざというときの安心余暇グッズを持参するなど、準備をしてでかけてみましょう。わが子の成長や必要な支援に気づく良い機会になるかもしれません。

１０月行事のご報告

１０月７日（月）～１０月１１日（金）、ぴあではフライドポテトづくりを行いました。冷凍食品を電子レンジで調理します。箱の裏にも手順書があることも伝えつつ、職員手作りのめくり式の手順書を使って自立作成を行いました。電子レンジのメモリを慎重に合わせたり、熱いポテトボックスをミトンを使って取り出すなど、自分でやってみるよい体験になりました。出来立てのあつあつポテトをジュースと一緒にいただきました。

いろはでは、ハロウィンのお面づくりとゲームをしました。お面はかぼちゃとおばけを選んで作りました。好きな色を選んでカラフルなお面ができました。ゲームは、おばけの的を狙って、ボールやお手玉を投げ入れました。オリジナルのかわいいお面が次々できていました。にこにこ笑顔で、さっそくかぶっていました。

職員研修報告③《子どもの支援には成人期までの大きなビジョンが必要》

子どもさんが成人期になったら、【合理的配慮を受けながら、社会に貢献する】【社会に向けて自信をもって合理的配慮を求めていく】ことができる支援を今する必要性があります。

≪　幼児期　≫

・構造化などの手法を用い、発達障がいの特性からくる不安の軽減を。混乱なく生活できることを保障する。
・最初からたくさんの場所に適応することを求めず、家庭・教室といった限られたところで安心して活動できる体験を提供することが大切。
・限られた環境の中で、幅広い経験をし、強み・困難さ・発達障がいが影響するその子の独特の学習の仕方、学ぶ速度などのアセスメントを正しく受け、合理的配慮を受けて生活することの基本を学ぶ機会を提供する。

ゆいねっと Study 倶楽部

10 月 21 日（月）の Study 倶楽部では、『家庭での構造化』について、保護者の方の実践事例を紹介させていただきました。ご協力いただいた紹介事例は、家庭でのお手伝いの物理的構造化、写真の手順書を使った料理体験、カレンダーや PECS を使ったコミュニケーション支援、スケジュールや自室での物理的構造化を使った自立の余暇、入院や投薬など初めての体験への情報提供です。どの方の実践も、お子さんに合わせて構造化されており、伝えたい情報がわかりやすくなっているため、理解して自立的に行動できることに繋がっていました。

次回は、11 月 11 日（月）10:00～11:30『事業所の取り組み報告』、12 月 16 日（月）10:00～12:00『性について』（講師：桑原綾子先生）と続きます。

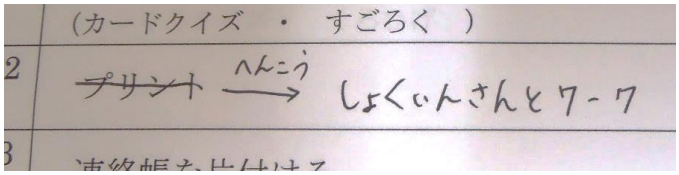
詳しくはチラシをご覧ください。

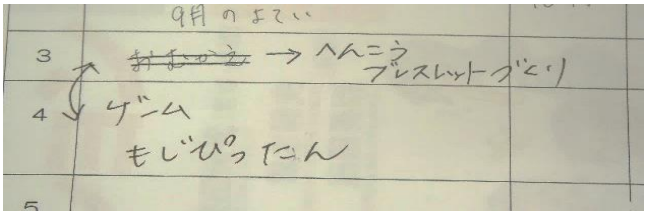
自宅でやってみよう！《変更のシステム》

変更システムとは…変更への対応の困難さをもつ自閉症の人に、スケジュールやワークシステムの変更の仕方を視覚的な支持を用いて習慣化する。

〇変更…A という活動は B という活動になります。
〇追加…C という活動を追加します。
〇中止…B という活動を中止します。

・変更システムは、個別化が必要です。個別化のポイントは、マークを用いる、線や矢印、単語・文章の指示などです。お子さんにわかる形で行いましょう。いつも同じシステムで伝えることで、理解を促すことができます。





【お知らせ】

★10 月 15 日の午前、総合福祉センターの防災訓練に参加しました。いろはのお子さんとともに、避難する体験、消火器での消火訓練の見学を行いました。ぴあ・いろはでは、防災マニュアルを作成しています。入り口横にファイルを設置していますので、自由にご覧下さい。

★読書の秋ですね。ぴあいろはでは、療育に関する書籍の貸し出しを行っています。お勧めの本を日替わりで入り口前に展示していますので、貸出ご希望の方は職員まで。また、書籍の整理を行いますので、読み終えた書籍の返却をお願いします。

★ゆいねっと新居浜 HP 内「BLOG」にて、ぴあ･いろはでの活動の様子を更新中です★
ぴあ・いろは入り口にぴあ通信・ブログ原稿を掲示しています。ぜひ、ご覧ください！！
http://yuinet-niihama.com/